

製品名: アレスチン C ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07169**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	ARR3
別名	ARR3; ARRX; CAR; Arrestin-C; Cone arrestin; C-arrestin; cArr; Retinal cone arrestin-3; X-arrestin
遺伝子 ID	407.0
SwissProt ID	P36575
免疫原	抗血清はヒト ARRC 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 339-388

背景

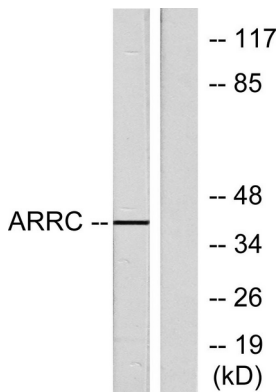
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、非視覚性のアレスチンであり、アゴニスト活性化リン酸化 G タンパク質共役受容体

に結合する。この結合により、受容体はヘテロ三量体 G タンパク質から分離され、G タンパク質共役受容体のシグナル伝達が終結する。また、コードされるタンパク質はセントロソームの一部であり、 γ -チューブリンと相互作用してセントロソームの適切な機能を制御する。[RefSeq 提供、2016年5月],機能: 網膜特異的なシグナル伝達において、未だ解明されていない役割を果たす可能性がある。光活性化リン酸化赤色/緑色オプシンに結合する可能性がある。類似性: アレスチンファミリーに属する。組織特異性: 網膜の内節、外節、および内網状部。 ,

研究分野

-

画像データ



ARRC 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。